



# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2024年7月 (2023年度) 通巻 415号

今月のテーマ キックオフ PR



|     |       |   |
|-----|-------|---|
| 会長  | 澁谷弘祐  | クラブ会長主題 「親睦を通して、互いを知ろう」                   |
| 副会長 | 岡部八千代 | 国際会長 チャーミング・シェン (台湾) 「太陽の輝きと笑顔」           |
| 書記  | 大澤和子  | アジア太平洋会長 ジョウン・ウォン (香港) 「大きなインパクトを起こそう」    |
| 会計  | 金本伸二郎 | 東日本区理事 山田公平 (宇都宮) 「ワイズの方向性を見極める」          |
|     |       | 関東東部部長主題 長尾昌男(千葉ウエストクラブ) 「親睦を糧にクラブライフの充実」 |

## 今月の聖句

「一緒に喜んでください。」

ルカの福音書 15章6節及び9節

## 7月 例会プログラム

日時: 令和6年7月13日(土)

18:00~20:00

会場 埼玉 YMCA 小手指センター

### 第1部:

司会 小林 勉

- |            |       |
|------------|-------|
| 1 開会点鐘     | 澁谷弘祐  |
| 2 今年度の計画   | 澁谷弘祐  |
| 3 会計報告     | 金本伸二郎 |
| 4 お茶ファンド報告 | 大澤和子  |
| 5 閉会点鐘     | 澁谷弘祐  |

### 第2部 懇親会

屋台ずし 会費 3000円

### 6月例会

所沢クラブ会員 6名・川越クラブ 6名  
 埼玉クラブ 4名 メネット 2人  
 ゲスト 28名 合計 47名

## 一年を振り返って

澁谷弘祐

2023年度のクラブ会長に推薦を頂きました際に、コロナ禍を含めて4年間もの長い間クラブ会長を務めてくださった東前会長への尊敬の思いと感謝を込めて、精一杯務めたいと抱負を持っておりました。しかしながら、急激な生活環境の変化があり年度計画を追いかけるのみの一年でした。この間、クラブ会員の皆様には例会準備から当日のプログラムまで精力的に活動いただき、心から御礼申し上げます。特にクラブ役員のみなさまには、例会実施にかかわる事柄を全体に渡ってお支え頂きました事を重ねてお礼申し上げます。

2023年度の特筆すべき事は合同例会の増加とそれに伴う交流の充実です。合同例会や移動例会では、各地に赴く事で新しい発見がある一方、所沢センターを拠点とした例会で会員同士の理解を深める事もできました。

川越クラブ、フィリピンパンがシナンクラブとの国際兄弟クラブの締結も行いました。YMCA活動もチャリティーラン、フェスティバル、クリスマスに参加できました。

休会・退会。逝去会員があることは寂しいですが、新入会員が加わってくださったため、次年度も安定したクラブ活動ができることを願っております。一年間ありがとうございました。

## 今後の予定

- 7月13日(土) キックオフ例会 Zoom
- 7月20日(土) 関東東部評議会 ウエスタ川越
- 8月10日(土) 8月例会
- 9月6日~8日 月6日~8日ユースボランティアリーダーズフォーラム

## 報告

## 宮地 輝子



6月22日埼玉YMCA子育て子育てセンターで木村利人氏の講演会がありました。『幸せなら手をたたこう 誕生物語』というテーマの

講演は多くの方の感動を呼びました。

「リヒト」とはドイツ語で「光」の意味があるというお名前の利人先生は終戦11歳で迎え、その後大学院生だった1959年4月から2か月間フィリピン、ルソン島のパンガシナン県ダグパン市に農村復興のボランティアとしてワークキャンプに行かれました。まだ至る所に弾丸痕があり、住民が虐殺されたという教会があり「お父さんは日本人に殺された」と言う人もいて、住民には強い反日感情があり、戦後初めて来た日本人の木村氏に向けた視線は厳しかったということです。子供時代を軍国主義の中で育った木村氏はそこで、初めて、正義のため戦っていた日本軍と思っていたのは間違いで、実は加害者だったことを知ったとのこと。そのような中でも仲間とトイレ作りなどしていたところ、ボランティア仲間の友ラルフ君が「日本人を殺してやろうと思っていたが、それは間違いで、これから平和のために戦争しない世界を作ろう」と言って手を取り合ってくれたそうです。その時に仲間と読んだ聖書の詩編に「・・・手を打ち鳴らせ・・・態度で示しなさい」等の言葉と現地の子供たちが歌っていたフィリピンの民謡のメロディと合わせフィリピンの友への感謝の思いを込めて「幸せなら手をたたこう」が誕生したということです。帰国後、歌声喫茶などで歌われて広がるうちに坂本九さんが歌うことになり、作詞は木村利人氏と示されるようになって、1964年の東京オリンピックで世界中に広まっていったということです。

ご専門の生命倫理学と共に平和教育にもお力を注が



れる偉大な先生から有名な歌の尊い誕生秘話をお聞きでき、又バンガシナンワイズメンズクラブは昨年所沢・川越ワイズメンズクラブとIBCを締結したところでもあり、このすばらしいご縁に感謝です。



6月1日、東日本区大会@北海道に参加しました。十勝プラザに全国のワイズメン321名が集まりました。所沢クラブからはコメント含めて6名の参加でした。

フィリピンのパンガシナンYMCAとIBCを結んだので、国際・交流事業IBC締結賞をいただきました。

代議委員会の報告は、今後のワイズ活動にとって深刻なもので、会員減による赤字財政をどうしたらよいかと…。

大会の主役ユースの発表は、未来に希望が持てるものでした。札幌ユースリーダー北大経済学部2年・埼玉県出身の菅はるかさんは「人と出会うことでしか自己を見つめ成長させることはできない」と気づき、貰う相手にも心の負担をかけない「グッズドライブ」（無償での物々交換）運動の提案をされました。又日本YMCA同盟の大澤篤人担当主事は、私たちの支援が能登半島地震支援にどのように用いられているかを報告してくれました。そういえば所沢センターのスタッフも能登半島に支援に行かれていました。

大晩餐会は北海道クラブの安田文子メンのピアノで格調高く始まり、十勝ワインで乾杯し、北海道名物の豚

井やアスパラガスなどおいしいものをおなかい

っぱい食べ、よさこいソーランで盛り上がり、終了しました。

所沢クラブのファンドの狭山茶、狭山茶ようかん、YMCAクッキーすべて完売しました。





今年度より所沢ワイズ担当主事になりました太田聡（おおたさとし）です。昨年度まで横浜YMCAに2年間出向しておりました。初めての方もいらっしゃると思いますので、この紙面を使わせていただき簡単に自己紹介をいたします。神奈川県北西に位置する相模湖町という緑豊かな小さな町で生まれ育ちました。重度障がい者入所施設で勤務する父の影響から大学では社会福祉を専攻し、学生時代に1年間休学し、英国の福祉施設でボランティア留学をしました。帰国後、この経験を活かして海外との繋がりのある仕事ができないか考えていた時期に、学生課でYMCAの黄色のパフレットを見つけました。「世界を見つめ、地域に生きる」「青少年教育、国際交流」そのような言葉に興味を持ち、就職説明会に参加したところ、当時の本部事務局の主事が生き生きと団体の説明をしている姿を見て、ここで働きたいと強く思いました。

2002年埼玉YMCAに入職し、所沢センターのウェルネスに配属、その後は浦和/川越センターで特別支援教育を中心に語学国際、野外教育を担当し、現在は本部事務局にいます。現在23年目を迎えておりますが、今も充実感を持って仕事ができているのも多くの人との出逢いや励ましがあつたからだ感謝しております。ワイズメンの皆さまには、チャリティーラン、フェスティバルなどをはじめ、日頃から大きなサポートを頂き、ありがとうございます。この1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



3月26日に天に召された小関京子先生をしのぶ会が子育て子育てセンターで行われました。参加者は84名（内、オンライン4名）と大変多くの方にお集まりいただきました。思い出話が止まらない、笑顔溢れる時間となりました。

当日紹介いたしました映像やメッセージは、以下のリンクでご覧いただけます。

①スライドショー

<https://photos.app.goo.gl/EShKM6dDHdcLkTkGA>

②メルマガ「私とYMCA」

[https://drive.google.com/file/d/1-8Y0X6oXWHLDOhFWECumEjmpeIPvdm\\_q/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1-8Y0X6oXWHLDOhFWECumEjmpeIPvdm_q/view?usp=sharing)

③メッセージ「花言葉」

<https://note.com/choro2020/n/n28b974833f42>

スライドショーには、小関先生がYMCAについて語られる動画も入っております。

YMCAを愛してくださった小関先生の思いを受け継ぎ、是非皆さまにも引き続きYMCAをお支えさせていただきたくよろしくお願いいたします。



**所沢クラブ ファンド**  
ご利用ください

お茶 1000円      クッキー 150円

ご注文は [osawakazuko@yahoo.co.jp](mailto:osawakazuko@yahoo.co.jp) (大澤)